

各県薬剤師会・各県病院薬剤師会 各位

平成 27 年 4 月 吉日

第六回東北地区褥瘡治療薬サミット開催のご案内

宮城県薬剤師会会長 佐々木孝雄
宮城県病院薬剤師会会長 眞野 成康
NPO法人褥瘡サミット代表 古田 勝経

謹啓 貴会の益々のご隆盛をお喜び申し上げます。

さて、この度「第六回東北地区褥瘡治療薬サミット」を宮城県薬剤師会、宮城県病院薬剤師会、NPO法人褥瘡サミットとの共催で 7 月 11 日（土）、12 日（日）の両日東北薬科大学にて開催する運びとなりました。

本サミットの仙台での開催は六回目となり、東北各県にも参加を呼び掛けています。第 3 回目からは 1 日目講演に続き、2 日目実習の形式で実施してまいりました。

チーム医療や在宅が重要な施策となる中、薬剤師の責任ある役割も大きく変わろうとしています。その中で、褥瘡への薬剤師の関わりは多職種間連携の中でも指導、教育を含め薬剤師業務の一つの大きな柱になると思われます。本サミットは、日本全国で開催されており、厚生労働省も薬剤師業務の一つとして注目しています。

つきましては、案内状を同封いたしましたので、ご多忙のところ申し訳ありませんが、開催の趣旨をご理解の上、貴会の多数の会員にご参加いただけますよう周知方お願いいたします。

謹白

連絡先

宮城県薬剤師会事務局 F A X : 022-391-6640

E-mail: info@mypha.or.jp

平成 27 年 4 月 吉日

第六回東北地区褥瘡治療薬サミット開催のご案内

宮城県薬剤師会会長	佐々木孝雄
宮城県病院薬剤師会会長	眞野 成康
NPO法人褥瘡サミット代表	古田 勝経

褥瘡につきましては、適切な外用薬の使用により重度の褥瘡も治癒が見込まれるようになりました。しかし、適切な薬物治療法は、褥瘡治療の経験によって細々と受け継がれているのが現状であり、標準的な治療法となっておらず、依然として多くの褥瘡患者が苦悩から解放されていない現実があります。東北地方は、早くからこの重要性に着目し、NPO法人褥瘡サミットと三者共催で褥瘡治療薬サミットを過去五回開催してまいりました。サミットは、2 日間にわたり、1 日目は講演・症例発表を中心とし、2 日目は褥瘡処置を中心とした実習（要申込み）を企画しています。

ご多忙中とは存じますが、褥瘡の基礎から臨床まで幅広く学べる機会と思いますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、2 日目の実習につきましては、50 名の定員で、実費として 3000 円を徴収予定です。参加希望の先生方は、メールまたは別紙申込書にて FAX で申し込みください。実習費は、当日現地で徴収いたします。また、登録済みの折り返し連絡もしますので、必ず連絡先を明記して下さい。

また、1 日目終了後懇親会を開催する予定です。こちらも参加希望の方は申込書に記載してください。参加費については当日徴収いたします。

事務局及び連絡先

宮城県薬剤師会事務局 FAX : 022-391-6640

E-mail: info@mypha.or.jp

第六回 東北地区褥瘡治療薬サミット

陽春の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、標記研修会を下記の通り開催する運びとなりました。愛知県では褥瘡治療での薬薬薬連携が活発に行われ、その取組みは本サミットを全国各地で開催することで広がっており、厚労省も注目しております。宮城県では6回目の開催となります。第3回からは実習も取り入れ、宮城県内の病院、保険薬局はもとより、東北6県の薬剤師会、病院薬剤師会にも呼びかけ参加をいただいております。参加者の皆様からは褥瘡の知識が、薬剤師の業務拡充の手段として有用であると評価もいただいております。褥瘡に対する基本的な考え方、治療などを根本から学べる機会と思われま

す。是非多数の皆様のご参加をお願い致します。

記

日時： 第1日目 平成27年7月11日(土) 午後1時～午後5時10分(受付12時～)
第2日目 平成27年7月12日(日) 午前9時30分～午後12時40分
会場： 東北薬科大学 仙台市青葉区小松島4-4-1 TEL:022-234-4181
中央棟2F 2B講義室(1日目)、薬理系実習室(2日目)

プログラム

司会：金田早苗(宮城県薬剤師会)

第1日目

◇ 開会挨拶(13:00～13:05) 宮城県薬剤師会副会長 青木 良悦

◇ 学術講演(13:05～14:35)

座長：片山 潤(宮城県病院薬剤師会生涯研修委員会副委員長)

「褥瘡の病態と薬物療法」 コバヤシヘルスケアシステム医療法人愛生館 小林記念病院
褥瘡ケアセンター長 古田 勝経 先生

(休憩) 10分

◇ 教育講演

「褥瘡の見方・考え方～瘡にあった治療薬の選択から処方解析、処方提案に向けて～」

(14:45～15:25) オーガナイザー：古田 勝経 先生

(休憩) 10分

◇ 症例報告(処方解析、処方提案を考える)(15:35～17:05)

コメンテーター：古田 勝経 先生

東北労災病院 薬剤師 庄司 理恵 先生

〇〇〇薬局 薬剤師 〇〇 〇〇 先生

◇ 閉会の挨拶(17:05) 宮城県病院薬剤師会副会長 尾形 勉

※ 宮城県病院薬剤師会生涯研修単位(2単位)、日本薬剤師研修センター研修認定(2単位)

※ 日病薬病院薬学認定薬剤師研修認定

1日目：学術講演 領域V-2 1単位、教育講演・症例報告 領域III-1 1単位申請中

2日目：領域III-1 2単位申請中

※ 共催：(一社)宮城県薬剤師会 宮城県病院薬剤師会 NPO 法人褥瘡サミット

申込方法：実習のみ必要(別紙)

褥瘡治療薬の使い方・実務実習

日時：平成 27 年 7 月 12 日（日）午前 9 時 30 分より午後 12 時 40 分まで

会場：東北薬科大学薬理系実習室

参加費：3,000 円

内容：別紙予定表に従い、褥瘡モデルを用いたグループ実習を開催します。

浅い褥瘡や深い褥瘡に対する創の洗浄、薬剤塗布、被覆などを実際に行い、外用薬の使い方を学んでいただけます。また治療中にも必要な予防のためのベッドマット等の使い方についても体験していただけます。

講師：国立長寿医療研究センター 古田 勝経 先生

募集定員（50 名）に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

また、懇親会参加希望の先生は申し込み時、そのことを明記して下さい。

参加者は白衣を持参してください。

申し込み方法：FAX または E-mail（登録済みの折り返し連絡などに必要です明記して下さい）

申し込み期限：6 月 12 日（金）

申し込み先： 宮城県薬剤師会事務局 F A X : 022-391-6640

E-mail: info@mypha.or.jp

実務実習参加申込書

氏名：.....

所属：.....

連絡先（FAX または E-mail）：.....

懇親会 参加 不参加
.....

事務局から： 月 日受付いたしました。

第6回東北地区褥瘡治療薬サミット2日目 実務実習 褥瘡薬物治療コース

時刻	項目	ベッド体験
9:30	講義 褥瘡治療薬の選び方・使い方～病態解析に基づく薬物療法	ベッド3台
10:00	体圧分散寝具の基本	
10:20	10分間 休憩	
10:30	① 必要物品の説明と確認	頭側挙上によるずれ体験を同時進行
10:40	② 左臀部の浅い褥瘡のデモ 1. リフラップ4.2g+テラジアパスタ10g(3:7)の調製、塗布 2. フィルムドレッシングの貼付 3. フィルムドレッシング貼付・剥離体験	
11:00	③ 基剤の影響を比較 1. オルセノン5g+ユーパスタ15g(1:3)の調製 2. ユーパスタ+デブリサンペースト10%の調製	
11:20	④ 仙骨部(深い褥瘡)(その1) 1. ヨードホルムガーゼ1枚+生食ガーゼ10m1 2. ヨードホルムガーゼ5×5cm2枚+サバキガーゼ	
11:40	⑤ 仙骨部(その2) 1. ③-2の変化を観察し比較する 2. フィブラストスプレー 3. ユーパスタ30gをシリンジでポケット部、瘻孔部へ注入する 4. ガーゼ、フィルムドレッシングの貼付 5. レストンパッドによる固定 6. スキンクリーンコットンの貼付 7. エラスチコンによるテーピング体験 8. 創を洗浄する	↓
12:20	片づけ	
12:30	質疑応答	
12:40	終了	